

東北にたくさんの笑顔を

仙台ターミナルビル株式会社

執行役員 経営企画部長 紙本 達宏



ごあいさつ

日頃より、弊社事業にご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびは、会員企業だよりへの寄稿の機会を頂戴しましたので、弊社について、ご紹介させていただきます。

沿革

弊社仙台ターミナルビル株式会社は、1976年4月に、東北新幹線開業に向けて建設されていた新しい仙台駅に併設する駅ビルの運営会社として産声をあげ、今年で50年を迎えました。

1978年3月に仙台駅にショッピングセンター「エスパル」が、1988年7月に「ホテルメトロポリタン仙台」がオープンして以降、ショッピングセンター（仙台・福島・郡山・いわき・山形）とホテル（仙台・福島・いわき・山形）の2つの事業を南東北3県で運営してまいりました。

通勤・通学、ビジネス、旅行のお客さまが行き交うターミナル駅という特長を活かし、地域を代表するショッピングセンター、地域 No.1 ホテルを目指し、日々取り組んでおります。

また、JR 東日本グループ全体で掲げる観光流動創造及び地域活性化に向け、2016年4月から仙台市若林区荒井の「せんだい農業園芸センター みどりの杜」の運営を開始し、2021年3月には、東日本大震災からの復興の一助になりたいという思いで、仙台市若林区荒浜に体験型の観光農園「JR フルーツパーク仙台あらはま」をオープンしました。

さらに、昨年2月には、岩手県雫石町に子会社「JR STB 小岩井開発株式会社」を設立し、同

社を通じ、今年4月23日に開業したJR 東日本の新たな高付加価値型ホテルブランド「AZUMA FARM」の第一号である「AZUMA FARM KOIWAI」の経営を担っています。



ホテルメトロポリタン仙台・エスパル仙台

トピックス

今年度から2027年度にかけて、私たちはさらなる飛躍を遂げるべく、数々の施策に取り組んでおります。

①エスパル仙台本館地下レストラン街リニューアル

エスパル仙台本館地下1階のレストラン街を約20年ぶりに「エキチカダイニング」として全面リニューアル中です。仙台の特色を盛り込んだエキチカダイニングは3つのゾーンで構成し、今年の4月20日にリニューアル第一弾として「けやき香路(こうじ)」がオープンしました。けやき香路は、落ち着いた雰囲気でありながらお店の賑わいがしみ出す地元の名店で仙台らしさを感じていただけるゾーンをコンセプトとしており、オープン以来、多くのお客さまにお越しいただいております。

第二弾としてオープンするのは、トレンド感のある洗練されたお店がそろった「だての辻」、そして行き交う人々の暮らしに寄り添い、毎日来

たくなるようなバラエティ豊かなお店がそろそろ「もりの道」です。ぜひ、お立ち寄りください。

②ホテルメトロポリタンベース仙台開業

今年の4月23日、ホテルメトロポリタン仙台(本館)の隣接地に「ホテルメトロポリタンベース仙台」がオープンしました。観光やビジネスなど様々なシーンの拠点として長くお泊りいただきたいという意味をこめて、「ベース:BASE」をホテル名に取り入れました。

全56室の客室は、自宅にいるような居住性とホテルならではの快適性・機能性を追求しており、ご家族・グループ旅行のニーズに最適な広々とした4人部屋「フォースルーム」は2段ベッドのお部屋と4つベッドが並んだ部屋の2種類があり、私個人としても大変オススメです。

また、1階には、朝食・ランチ・カフェ・ディナー、そしてバートタイムまで、ホテルメトロポリタン仙台自慢のお料理、そしてスイーツがカジュアルにお楽しみいただけるレストラン「AD-Base」も営業しています。

なお、6月20日、宮城県美術館のリニューアルにあわせ、美術館内にカフェレストラン「Chaleur Musée」(シャルール ミュゼ)をオープンしました。美術に触れる豊かな時間とともに、ホテルメトロポリタン仙台自慢のランチ、スイーツがお楽しみいただけます。



ホテルメトロポリタンベース仙台

③ JR フルーツパーク仙台あらはま拡大

2021年3月に、東日本大震災の津波被災地である仙台市若林区荒浜の集団移転跡地約11ヘクタールにオープンした「JR フルーツパーク仙台あらはま」は、いちごをはじめ、ブルーベリー・梨・ぶどう・いちじく・りんご等の1年を通してできる果物狩りの他、直売所(マ

ルシェ)でのお買い物などをお楽しみいただける観光農園です。

現在、2027年夏の開業に向け、隣接地約10.6ヘクタールをあわせた全体で約21ヘクタールの土地を活用し、様々な魅力あふれるコンテンツを導入し、「日本最大級で日本一楽しいフルーツパーク」を実現させるべく、準備を進めています。

具体的には、夏の摘み取り強化のために新たにさくらんぼ・すもも・プルーンを栽培することで1年を通して果物狩りができるようにするとともに、果物をテーマにした1500㎡の全天候型の遊び場の設置、東北沿岸部の復興の今を伝え、復興ツーリズムの拠点となる震災復興展示館の設置、既存のマルシェの拡充(現行比約3倍)などを行ってまいります。



フルーツパークのキャラクター「フルパちゃん」

さらなる東北への貢献

先日発表させていただきましたが、同じJR東日本グループの東北6県でJR東日本の駅業務の受託やエキナカ事業などを行っている「JR東日本東北総合サービス株式会社」との合併を来年4月1日に予定しています。

例えば、東北を代表する仙台駅には、当社が運営するエスパルとJR東日本東北総合サービス株式会社が運営するtekute、そしてお土産などの物販店・飲食店がありますが、合併後は両社の長所・ノウハウを結集した開発・運営を行うことで、より魅力ある仙台駅にすることができると考えております。福島・郡山・山形駅なども同様です。

さらには、新会社とJR東日本グループが一体となり、東北内外・国内外から東北への流動創造のさらなる強化を通じて、東北地方の持続的な成長と地域の活力創造を実現し、東北地方をもっと元気に、そして東北地方にたくさんの笑顔を作り出せればと考えております。

今後とも、皆様のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。